

▲▼▲▼▲▲▼▲▼2026年度講座計画▲▼▲▼▲▲▼▲▼

第50回講座

第緊急企画「ガサ、イラン…、中東の戦争と日本の私たち」

日時：2026年6月6日(土)14:00～16:30 松本市勤労者福祉センター 3-3会議室

講師：川上泰徳さん(ジャーナリスト。中東に駐在した元朝日新聞記者。映画監督)

第51回講座

小水力発電エクスカージョン〈小旅行講座〉

岐阜県福地温泉

日時：10/4・5(検討中)

第52回講座

「注目の韓国絵本作家を招いて トークとワークショップ」(仮題)

日時：11月頃

講師：絵本作家、専門家など検討中

第53回講座

「人口減少で日本は亡ぶ? ～移民と共に生きる時代～ 第2章(仮題)」

日時：2027年2～3月頃

講師：毛受敏浩さん(関西国際大学客員教授、日本国際交流センター前執行理事)打診中

※講座の案内は順次公開。ホームページでもお知らせしています。予告なく内容を変更する場合があります。

入会のご案内

信州自遊塾主催・共催の講座やエクスカージョン(小旅行講座)などに、無料または会員価格で優先的に参加できます。個人情報、会員への連絡以外の目的には使用しません。

◆ 信州自遊塾HPの会員登録フォーム
<https://jiyujuku.org/>
(信州自遊塾で検索できます)

年会費：1,000円(1口)

信州自遊塾は、すべてボランティアで運営しています。複数口(カンパ)大歓迎です。

振込先：八十二長野銀行 松本駅前支店
(普) 866851
信州自遊塾(シンシュウジユウジユク)

入会申込書 (※は必須項目)

フリガナ
※氏名 _____ 年 月 日
※西暦 年 生まれ

※住所 〒 _____

職業又は所属団体 _____

添付ファイルが受け取れるメールアドレス _____

※電話 (1) _____ 電話 (2) _____

通信欄 _____

コピーしてお使いください

～これからの人間の生き方を考えよう～

信州自遊塾
<http://www.jiyujuku.org/>

信州自遊塾事務局 〒399-8301 安曇野市穂高有明7516-23

メール: info@jiyujuku.org

～これからの人間の生き方を考えよう～

information
2026

信州自遊塾

パンフレット
Since 2011/3/11

信州自遊塾は、だれもが参加できる、3・11以降の生き方を学び考える場です。

信州を愛する人の中には、それぞれの分野で素晴らしい活動を行い、物を考え、造り出している人たちがたくさんいます。「信州自遊塾」はこうした人々のネットワークを作り、講座・エクスカージョン(小旅行講座)などで新しい時代の人間の幸せを、まじめに楽しく、考え、学ぶ場です。

塾長メッセージ

ごあいさつ

アメリカのトランプ大統領の暴挙はとどまるところを知らず、世界を大混乱に巻き込んでいます。平和主義と民主主義の価値基準を世界は取り戻せるのでしょうか。日本の政治や経済にも大きな不安が渦巻いています。こうした中で2026年度の信州自遊塾は、6月に緊急企画として、元朝日新聞記者の中東ジャーナリストで、ドキュメンタリー映画「壁の外側と内側」の監督でもある川上泰憲さんを招いて講座を開きます。中東の戦争では一般市民の虐殺という国際法に反した攻撃がなぜ行われるのかを問わなければなりません、同時に日本にもかかわる重要な問題として私たちもこの戦争について考える必要があります。

中東問題が起こるなかでエネルギー危機が迫っています。エネルギー問題は2011年の東日本大震災で起こった原発事故を機に「これからの生き方を考えよう」と発足した信州自遊塾が継続して取り組んでいる課題です。今年は小水力発電を活用して成果をあげている岐阜県の地域の一つ、福地温泉へのエクスカージョン(小旅行)を計画しています。

また、人口問題は、日本が抱える喫緊の課題でありながら、国会では移民政策を含め、なかなか十分な議論が進んでいません。昨年もお呼びしたこの分野の第一人者である毛受敏浩氏に、さらに深めた話を聞きたいという声もあり、再び登壇していただくことを考えております。

楽しい文化企画としては、松本市の東アジア文化都市助成事業と連携して、世界的に評価され、日本でも人気の韓国の絵本作家を呼びたいと計画中です。自遊塾の講座やイベントでみなさんとお会いできるのを楽しみにしております。



塾長 松本 猛
(まつもと たけし)

ちひろ美術館常任顧問・
美術評論家・作家・
横浜美術大学客員教授

第47回講座

「ネット社会は人間の精神にどう影響する？
～スマホ、ゲーム、SNS、AI」

第1部 精神科医 熊代亨さんの講演

第44回講座「人間はどこまで家畜か」でも講演いただいた精神科医の熊代亨さんに再度ご登壇いただきました。熊代さんからは、主に以下のようなお話がありました。

「インターネットは既に社会インフラの一部なので、もう戻ることは出来ない。上手に付き合うことを考えていこう。誰もがスマホを携帯することが当たり前になり、人も情報として取り扱われるようになった。人間のサイボーグ化は今後益々加速していくだろう。SNSはオーナーに情報管理・操作されていることを前提に付き合いえないといけない。ネットはフェイクだらけの世界なので、個人の見極め能力が求められる。ネット依存が社会問題になっているが、ネット自体が悪いとは言えない。ネット依存症は、それ以外の環境から引き起こされる結果という側面がある」

第2部 伊藤たかみさん(芥川賞作家・日本絵本賞選考委員)との対談・フリーディスカッション&会場参加者を交えての意見交換

インターネット空間が広がる中で小説、絵画、音楽などの文化はどうなっていくのだろうか？AIとどのように付き合い合ったらよいのだろうか？ネットをやっても健全でいるためにはリアルな人間関係と自然に触れていれば、精神的ダメージは受けないで豊かに過ごせると感じたがそういうものか？などの問いかけがあり、熊代さんは「人間はデジタル空間で生きているわけではなく3次元の地球の上で暮らしている。その中で人間関係、社会関係、経験が人間にとって一番重要なこと」などのお話しされました。

開催日時：2025年7月6日(日)
会場：松本市中央公民館Mウイング6階ホール
参加者数：約70名

第48回講座

「貧困とは何か？
～自己責任ではかたづけられない問題」

第1部 大分大学准教授の志賀信夫さんの講演

志賀さんは、一橋大学社会学研究科博士後期課程を修了された社会学博士。専門は、貧困理論、社会政策。「貧困とは何か」について研究しながら、NPO法人「結い」の理事や「いのちのとりで」裁判で意見書を執筆されるなどの活動をされています。

貧困の定義は「放置しておけない生活状態（あってはならない状態）」を指すが、この基準は歴史や市民運動の影響を受けて変化してきた。貧困の歴史的变化と「人権」、なぜ「権利」と「自由」が大切なのか、生活保護基準の引き下げ問題などについて、また、「貧困をなくすためには人間の生活にどうしても必要なものを高額な商品にしないような社会の仕組みづくりが必要」と語っていただきました。

第2部 NPO「ホットライン信州」の専務理事も交えた意見交換

松本でこども食堂等を運営されているNPO「ホットライン信州」の青木正照さんから、長野県内に210ほどあるこども食堂のネットワークづくりや、「共食」で人の繋がりや生活保護申請を助けている活動の事例が報告され、その後、講師を交えてフリーディスカッションを行いました。トランプ政権や「日本人ファースト」は、貧困をなくすために最下層の人たちを排除する、という19世紀からある考えと共通する等の説明もありました。

開催日時：2025年11月8日(日)
会場：松本市中央公民館Mウイング6階ホール
参加者数：51名

第49回講座

「イタリア的生き方
～なぜか最後はうまくいく」

第1部 ティツィアナ・アランプレーゼさんの講演

ティツィアナさんはブランディングのスペシャリスト。学生時代から日本文化を愛し、日本でフィアットなどのマーケティングで成果をあげ、イタリア文化を普及した功績で勲章も授与されました。「イタリアのポテンツァ（松本に似た山の町）で育ち、日本の大学で禅、お茶、剣道を通じて一期一会の精神を学んだ。最高の生き方とは、自分らしく、情熱（Passion）を持って「NO」と言える強さを持つこと。人生とビジネスにおいて、最も必要なのは愛と人とのつながり「Loveting（Love + Marketing）」という考え方だと私は信じています」など、ティツィアナさんのお話を通して、イタリア的人生の楽しみ方を探りました。

第2部 ティツィアナさんに聞こう イタリアなんでもQ&A

「日伊ともに家族を大切にするが、政治的な類似点がありますか？」「仕事で反対意見があった時、どのようにアイデアを通してきたのですか？」「日本の職人とイタリアの職人に違いは？」など会場から活発に質問が投げかけられ、ティツィアナさんは誠実かつユーモアを交えながら応えました。懇親会も37人が参加し、立食形式でイタリア料理とイタリアの珍しいワインを頂きながら、にぎやかで和やかな楽しい会となりました。

開催日時：2025年2月21日(土)
会場：レストラン「マンマミーア」(松本市)
参加者数：67名

講座の告知や、詳しいレポートは
ホームページでお知らせしています。

ぜひチェックを！

信州自遊塾

検索

